

## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場会社名 相鉄ホールディングス株式会社  
 コード番号 9003 URL <http://www.sotetsu.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鳥居 眞  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営戦略室部長 (氏名) 千原 広司  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

TEL 045-319-2043  
 平成24年12月3日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	119,340	△1.6	10,184	25.8	7,947	40.5	4,767	163.5
24年3月期第2四半期	121,331	△3.2	8,092	5.2	5,654	13.7	1,809	△54.3

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 4,104百万円 (114.4%) 24年3月期第2四半期 1,914百万円 (△41.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	9.73	—
24年3月期第2四半期	3.69	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	542,766	80,963	14.5
24年3月期	532,905	78,148	14.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 78,775百万円 24年3月期 75,913百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
25年3月期	—	2.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	254,300	△1.2	19,390	19.8	14,590	19.9	7,530	2.4	15.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	490,727,495 株	24年3月期	490,727,495 株
25年3月期2Q	572,750 株	24年3月期	570,219 株
25年3月期2Q	490,156,798 株	24年3月期2Q	490,165,282 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記の業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復基調を辿りつつあるものの、欧州財政金融危機を背景とした世界経済の減速懸念の高まりや、長期化する円高などにより依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、相鉄グループにおける当第2四半期連結累計期間の営業収益は1,193億4千万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は101億8千4百万円（前年同期比25.8%増）、経常利益は79億4千7百万円（前年同期比40.5%増）、四半期純利益は47億6千7百万円（前年同期比163.5%増）を計上するにいたしました。

各セグメント別の状況は以下のとおりであります。

#### a. 運輸業

相模鉄道㈱の鉄道業、相鉄バス㈱の自動車業を中心としております。

相模鉄道㈱では、駅及び車両のバリアフリー化、改良工事等を計画的に実施し、お客様に安全・快適にご利用いただけますよう施設・車両の整備に努めており、6月には10駅において旅客用トイレに音声案内装置を設置し、9月にはかしわ台変電所において受電装置の密閉化工事が竣工すると共に、鶴ヶ峰駅において行先案内表示装置を設置いたしました。

また、相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差工事につきましても鋭意推進しております。

東日本旅客鉄道㈱との相互直通運転につきましては、現在、用地取得や西谷駅付近の工事を実施しており、東京急行電鉄㈱との相互直通運転につきましても早期着工に向けた各種取組みを進めております。

相鉄バス㈱では、アイドリングストップ機能のついたワンステップバス等7両を導入し利便性の向上に努めました。

運輸業全体における当第2四半期連結累計期間の営業収益は、196億8千2百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は38億2千万円（前年同期比2.3%増）となりました。

なお、相鉄自動車㈱につきましては当社が保有しておりました全株式を6月に譲渡いたしました。

#### b. 建設業

相鉄建設㈱を中心としており、引続き厳しい事業環境が続く中、各社共に営業力の強化、技術力の強化等に努めました。

建設業全体における当第2四半期連結累計期間の営業収益は、完成工事高の増加等により62億7百万円（前年同期比6.0%増）、営業損失は7千4百万円（前年同期は6億7千8百万円の損失）となりました。

#### c. 流通業

相鉄ローゼン㈱のスーパーマーケット業、相鉄流通サービス㈱及び㈱イストの流通事業、相鉄興産㈱の砂利類販売業を中心としております。

相鉄ローゼン㈱では、「上星川店」（横浜市保土ヶ谷区）をはじめ4店舗で改装を実施したほか、「南が丘店」（神奈川県秦野市）など、計14店舗で売場の見直しを行いました。また創業50周年企画や、「厚木林店」（神奈川県厚木市）のほか計5店舗において利便性の向上を目的に営業時間を延長するなど、販促の強化に努めました。

相鉄流通サービス㈱及び㈱イストでは、前期に引き続き多摩都市モノレールの駅構内において「ファミリーマート立川南駅店」（東京都立川市）のほか計4店舗を新規開業するなど事業基盤の拡充と収益力の向上に努めました。

相鉄興産㈱ほかの各社におきましても、競争が激化するなど厳しい事業環境の中、業績向上に向けて積極的な営業活動を展開いたしました。

流通業全体における当第2四半期連結累計期間の営業収益は、523億1千3百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は3千1百万円（前年同期比70.1%減）となりました。

なお、相鉄興産㈱は7月に建材商社業、石油販売業の事業を会社分割によりグループ内の東海開発㈱に承継いたしました。また同時に相鉄興産㈱を相鉄鉱業㈱に、東海開発㈱を相鉄興産㈱に商号を変更いたしました。

## d. 不動産業

相鉄不動産㈱及び相鉄不動産販売㈱の不動産分譲業並びに㈱相鉄アーバンクリエイティブ及び㈱相鉄ビルマネジメントの不動産賃貸業を中心としております。

相鉄不動産㈱及び相鉄不動産販売㈱の分譲業では、「グレースシアハウス南雪谷」(東京都大田区)などの集合住宅や「早川城山住宅地」(神奈川県綾瀬市)などの戸建住宅を合計257戸分譲いたしました。

㈱相鉄アーバンクリエイティブ及び㈱相鉄ビルマネジメントの賃貸業では、事業基盤の強化・拡充等を進めており、5月に「相鉄南幸第8ビル」(横浜市西区)を取得したほか、東京都内においてオフィスビル開発用地を取得しました。また6月に「相鉄瀬谷第2ビル」が竣工いたしました。

不動産業全体における当第2四半期連結累計期間の営業収益は、主に分譲業における引渡し戸数の減少により329億5千9百万円(前年同期比4.6%減)、営業利益は主に新規取得した賃貸物件の寄与により61億7百万円(前年同期比18.1%増)となりました。

## e. その他

相鉄企業㈱のビルメンテナンス業、相鉄ホテル㈱、相鉄イン㈱及び㈱相鉄イン開発のホテル業、㈱相鉄エージェンシーの広告代理業を中心としております。

相鉄企業㈱では、事業者間の受注競争が激化する厳しい事業環境の中、東京都内及び神奈川県内において新規業務を受注し営業基盤の拡大を図りました。

「横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ」を運営している相鉄ホテル㈱では、5月に1Fロビーとロビーラウンジ等を改装したほか、各種イベントを積極的に開催し集客を図りました。また、コスト管理の徹底を図り収益の確保に努めました。

宿泊特化型ホテルの開発・運営を手がける相鉄イン㈱及び㈱相鉄イン開発では、4月に「相鉄フレッサイン千葉柏」(千葉県柏市)を開業し、宿泊特化型ホテルは全7店舗となりました。引き続き多店舗化による事業基盤の拡充と収益力の向上に努めてまいります。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、固定資産の取得等により前連結会計年度末に比べて98億6千万円増加し、5,427億6千6百万円となりました。

負債は、借入金の増加等により70億4千5百万円増加し、4,618億2百万円となりました。なお、有利子負債の残高は、借入金・社債合わせまして3,347億2千9百万円となり、175億2千6百万円増加いたしました。

純資産は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により28億1千5百万円増加し、809億6千3百万円となりました。なお、自己資本比率は14.5%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

国内景気は、個人消費に一部持ち直しの動きがみられるものの、本格的な回復には至っていないなど予断を許さない状況が続くものと思われまます。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の業績等を踏まえ通期連結業績予想につきましては、平成24年4月27日に公表しました数値から変更しております。

売上高は、主に流通業における減収により2,543億円(前回予想比0.6%減)といたしましたが、営業利益は経費の減少等により193億9千万円(前回予想比3.0%増)、経常利益は145億9千万円(前回予想比4.9%増)、当期純利益は75億3千万円(前回予想比4.4%増)を見込んでおります。

※ 業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,738	11,101
受取手形及び売掛金	17,161	13,111
たな卸資産	32,472	30,453
繰延税金資産	2,546	1,911
その他	11,957	9,746
貸倒引当金	△665	△615
流動資産合計	75,210	65,709
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	185,274	186,253
機械装置及び運搬具（純額）	15,166	13,957
土地	192,427	219,180
建設仮勘定	11,238	7,054
その他（純額）	4,105	3,883
有形固定資産合計	408,211	430,328
無形固定資産		
のれん	2,493	2,378
借地権	3,518	3,518
その他	4,350	3,755
無形固定資産合計	10,361	9,653
投資その他の資産		
投資有価証券	7,246	6,140
長期貸付金	85	82
繰延税金資産	9,848	9,301
その他	22,272	21,774
貸倒引当金	△371	△252
投資その他の資産合計	39,080	37,046
固定資産合計	457,654	477,028
繰延資産		
株式交付費	41	28
繰延資産合計	41	28
資産合計	532,905	542,766

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,010	11,694
短期借入金	61,800	74,807
1年以内償還社債	19,850	19,850
リース債務	408	391
未払法人税等	1,834	1,451
賞与引当金	2,343	2,317
その他の引当金	567	591
資産除去債務	34	167
その他	33,355	26,615
流動負債合計	135,205	137,886
固定負債		
社債	102,045	106,620
長期借入金	133,507	133,452
リース債務	673	522
繰延税金負債	323	749
再評価に係る繰延税金負債	28,387	27,352
退職給付引当金	21,604	21,261
長期預り敷金保証金	30,149	30,975
資産除去債務	1,452	1,773
その他	1,407	1,209
固定負債合計	319,551	323,916
負債合計	454,757	461,802
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	38,803	38,803
資本剰余金	29,920	29,919
利益剰余金	8,908	14,218
自己株式	△218	△218
株主資本合計	77,413	82,722
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,102	1,424
土地再評価差額金	△3,602	△5,371
その他の包括利益累計額合計	△1,499	△3,947
少数株主持分	2,234	2,188
純資産合計	78,148	80,963
負債純資産合計	532,905	542,766

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業収益	121,331	119,340
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	90,879	87,406
販売費及び一般管理費	22,358	21,750
営業費合計	113,238	109,156
営業利益	8,092	10,184
営業外収益		
受取利息	55	53
受取配当金	135	141
受託工事事務費戻入	57	110
雑収入	247	203
営業外収益合計	495	510
営業外費用		
支払利息	2,768	2,583
雑支出	164	162
営業外費用合計	2,933	2,746
経常利益	5,654	7,947
特別利益		
固定資産売却益	18	11
投資有価証券売却益	—	81
関係会社株式売却益	—	259
補助金	5	35
退職給付制度改定益	79	—
その他	14	—
特別利益合計	118	389
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	206	178
固定資産圧縮損	5	35
投資有価証券評価損	229	—
関係会社株式交換損	74	—
減損損失	46	—
事業整理損	386	—
その他	196	—
特別損失合計	1,144	213
税金等調整前四半期純利益	4,628	8,122
法人税、住民税及び事業税	1,451	2,392
法人税等調整額	1,426	937
法人税等合計	2,878	3,330
少数株主損益調整前四半期純利益	1,750	4,792
少数株主利益	△59	25
四半期純利益	1,809	4,767



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,750	4,792
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	164	△687
土地再評価差額金	—	△0
その他の包括利益合計	164	△688
四半期包括利益	1,914	4,104
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,973	4,087
少数株主に係る四半期包括利益	△59	16

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	建設業	流通業	不動産業	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	19,253	4,383	52,404	32,861	12,427	121,331	—	121,331
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	633	1,474	449	1,682	4,183	8,423	(8,423)	—
計	19,887	5,858	52,853	34,544	16,610	129,754	(8,423)	121,331
セグメント利益	3,734	△678	105	5,172	△339	7,994	98	8,092

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス業、ホテル業及び広告代理業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	建設業	流通業	不動産業	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	18,988	5,254	51,976	31,183	11,937	119,340	—	119,340
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	694	953	336	1,775	4,559	8,319	(8,319)	—
計	19,682	6,207	52,313	32,959	16,496	127,660	(8,319)	119,340
セグメント利益	3,820	△74	31	6,107	295	10,179	4	10,184

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス業、ホテル業及び広告代理業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。